

とうごう 歴史発見! 魅力発信!!

諸輪にもあった! 丹羽氏ゆかりの城(後編)



5月号では、諸輪北城(上城)を紹介しましたが、今回は丹羽氏の
もう一つの城、諸輪中城についてお話します。中城は、諸輪中市、
5月号で紹介した清安寺の東あたりに存在しました。江戸時代の地
誌*1には、堀が残存していたとありますが、現在の城の遺構の状況
は不明です。中城は、傍示本城の城主でもあった丹羽氏重の居城と
伝わります。そんな中城には、氏重の暮らしを物語る伝承があります。
なんと氏重には美しい側女・おくらとその子ども・市兵衛がおり、氏
重は二人を城の近くに住まわせていたというのです。この時16歳の
氏重に、すでに妻子がいたとは驚かされます。岩崎城が落城した後、
諸輪でも丹羽一族の残党狩りが行われたといわれます。二人は隠れ
ていましたが、市兵衛が氏重の子と判明し、斬られてしまいます。おく
らは悲しみに泣き続け、ついには亡くなってしまいました。気の毒に
思った村人が二人を中城近くの藪の中に埋めて供養したため、それか
らこの藪は市兵衛藪、のちに「市藪」*2と呼ばれるようになったと言
い伝えられています。市藪であったと思われる場所は、現在住宅や駐
車場になり、昔の面影は残っていません。しかし、現地には今でもおく
らが信仰していたとされる稲荷社があり、氏重とおくらの穏やかな生
活の記憶を今に伝えています。今回は小牧・長久手の戦いと祐福寺
の意外な関係についてご紹介します。



氏重の側女・おくらが
信仰していたとされる稲荷社



諸輪中城 範囲図

※1 「尾張志」1844年(天保15年)
※2 現在、「市藪」という呼称は残っていません。

【文】岩崎城歴史記念館 学芸員 内貴健太

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎0561・38・7780

東郷町公式 LINE

東郷町公式 Twitter

東郷町公式 Instagram

Catalog Pocket いつでもどこでも気軽に読める!
10言語対応配信中!

シティプロモーション動画「ちょうど級タウン東郷町」